○　消火栓開閉弁

１　主な用途

消火活動に必要な水を取り出すための接続口『バルブ』

バルブを開くとホースへ水が流れ、閉じると水が止まります。

２　基準

屋内消火栓設備の屋内消火栓等の基準

３　呼称・種類

⑴ 呼称

一般的には「バルブ」と呼ばれますが、その用途によって「消火栓弁」や「放水口」という二つの呼び方があります。

設備区分	サイズ	使用される格納箱	備考
屋内消火栓設備	２５	２号消火栓 広範囲型２号消火栓	ポンプ起動スイッチ付き
	３０	易操作性１号消火栓	ポンプ起動スイッチ付き
	４０	１号消火栓	
	５０	１号消火栓	危険物対応※1 の場合
屋外消火栓設備	６５	屋外消火栓	
連結送水管	５０ ６５ ５０×６５	放水口格納箱 放水口・放水器具格納箱	サイズは所轄消防署によって決められる

※１　消防法による基準で燃えやすいものを一定数以上保管、又は使用する建物に適用される。

⑵ 種類

ア　配管接続口と吐水口の角度によって呼び方を決めています。



９０° 型



４５° 型



１８０° 型

イ　２号消火栓、広範囲型２号消火栓、易操作性１号消火栓に使用するバルブには「ポンプ起動スイッチ」が組み込まれています。



２号消火栓・広範囲型２号消火栓用
２５Ａ



易操作性１号消火栓用
３０Ａ

ウ　口金部分が３６０°回る構造になっている「回転式バルブ」もあります。



４５°回転式



９０°回転式

エ　ホースを接続する口金部分には「差込式」と「ねじ式」があり、用途によって使い分けします。



差込式口金



ねじ式口金

オ　特殊な形状として５０Ａ、６５Ａのどちらのホースも差し込めるバルブがあります。



５０Ａ差込部　６５Ａ差込部



その他にも減圧機能を内蔵したバルブも存在します。

４　機器の構造

⑴ 一般構造

バルブ内部に弁があり、ハンドルを回すと弁棒が上下するねじ送り式です。

弁体の底にあるゴムパッキンを弁座に押し付けることで水を止めます。

⑵ 使用圧力

消火栓弁の最高使用圧力は見やすい箇所に容易に消えないように表示すること、と定められていますので、消火栓弁に表示されている最高使用圧力を確認してください。

５　使用方法

ア　水を出す時：ハンドルを全開まで反時計回りに回す。

イ　水を止める時：水が止まるまでハンドルを時計回りに回す。

６　維持方法

弁にゴムを使用しているので高温になる環境では劣化を早める可能性があります。

高温多湿、直射日光を避けることで製品の長持ちに繋がります。

７　注意点

⑴ 施工時

ア　町野式の口金を取り外した際は押輪の向きに注意して下さい。逆に取り付けてしまうと、ホース結合金具が接続できなくなります。

イ　口金部は止水する箇所です。漏洩の原因にもなるので工具等で傷を付けないように注意して下さい。

⑵ 使用時

バルブのハンドルは全開で使用して下さい。半開で使用すると消火に必要な水量を確保できなかったり、弁の破損に繋がる恐れがあります。

参考　他製品



